



科目：  
マーケティング入門  
キャップストーン  
経営学入門  
E コマース人材と  
組織行動のマネジメント



## Pajaree ACKARADEJRUANGSRI 准教授

専門分野：消費者行動、マーケティング戦略、ビジネス戦略

### 3 Tips:

1. 「Active Learning」と「Active Teaching」
2. 学生の授業への積極的参加を促進
3. 授業改善の4つの視点：振り返り、学生からのフィードバック、他の教授との意見交換、授業内容を時流に合わせる

## Active Learning and Active Teaching

A: 今まで授業をどのように改善されてきましたか

A: 「Active Learning」と「Active Teaching」の両方を通じて、授業の質を向上させています。

「Active Learning」と「Active Teaching」には学生と講師の双方向のインプットとコミュニケーションが含まれます。「Active Learning」とは具体的に、自分たちが単に授業を聞いているよりももっと学習したことが身に付くようなアクティビティを行う

イズをやってもらいます。

授業中には講義や事前課題について学生が自分の考えを共有できるように、Active Learning Activity\* を行っています。これにより、学生は授業中により深く考えるようになり、Active Learning に向けた事前課題を通じ、講義内容をよりよく理解出来ます。授業の後には、学生の理解を深め、間違っていた理解をしていないかを確認するためにマナバのミニクイズも行います。

\* 「Active Learning」活動の例：

• クラス内ディスカッション：経営学入門の授業ではグループ内でディスカッション

ことです。「Active Teaching」とは、教師が学生の授業への積極的参加を促し、学生の学習能力に応じて内容を調整することで学生の理解度を測ることを言います。

私は95分間の授業を基本的に図1のように構成し、毎回授業目標を設定しています。講師だけが授業を準備するのではなく、学生にも事前にリーディング課題を配布し読んでもらうことで、授業の要点を端的に理解することができるようにしています。例えば、私はマーケティング入門でedpuzzle.comを使用していて、学生には授業の前に指定の映像資料を見て、ミニク

を行いワークシートに記入します。

• ミニアクティビティ：マシュマロチャレンジ（人的資源と組織行動の管理）リンク：  
「Build a tower, build a team」  
[https://www.ted.com/talks/tom\\_wujec\\_build\\_a\\_tower\\_build\\_a\\_team/transcript](https://www.ted.com/talks/tom_wujec_build_a_tower_build_a_team/transcript)

学生はチームに分けられ、マシュマロを支えられる最も高いタワーを完成させることを競います。使える材料はスパゲッティ、テープ、糸です。このアクティビティの学習目標は次のとおりです。

1. グループとチームの違いを判断できる
2. チームワーク向上の5つの段階を特定で

きる

## インタビューのメモ：

私は 2 年前にこのクラスを受講しましたが、マシュマロチャレンジから学んだ基本的な概念は今でも覚えています。創造性あふれる楽しい、忘れられないグループ活動で、ここから重要な概念を学習しました。

・授業中の質問ライブ投票（オンライン講義）：PowerPoint スライドに質問を書き、学生に 1 分間考える時間を与え、クラス全体で回答を共有してもらいます。

## 学習の質を向上または維持するためのオンライン授業で工夫した点

Q: 今年は春semesterからオンラインで授業が行われました。オンラインの授業に合わせどのように変更を加えましたか？

A: オンライン授業に変わってから学生の表情を見る機会が少なくなり、不安定なインターネット接続や、授業時間が足りないなどのいくつかの問題に直面しました。これらの問題を改善するために私は事前にアップロードする PowerPoint スライドを修

正しました。以前は学生が対面授業に来るようにと、事前にアップロードしたスライドの大部分を空白にしておきましたが、接続問題で内容に追いつけない学生のために、スライドに説明を追加しました。そして学生からのフィードバックをもとに接続問題のような潜在的な問題を発見し、考慮して、オンライン授業に対応するようにしています。

Q: 常に積極的な学習活動をクラスに取り入れ、学生が自分の考えを共有し質問をすることを促すと

おっしゃいましたが、私の印象でも先生のクラスはいつもとても元気で活気がありました。どうやって学生たちに授業中に積極的に参加するように促していますか？

A: 私は学生に正しい答えも間違った答えもないといつも言います。学生の答えが間違っていると言うより、「それはいい考えだけど、これはどうかな？」と話し、別の視点から考えてもらうようにします。学生は授業の中で自分の考えを話すことで大きな一歩を踏み出します。一番やりたくないのは、聞きたくないことを言って学生達の

モチベーションを下げてしまうことです。私は学生たちが自分の意見を表現しやすくなるように、親しみやすい教育者になりたいです。

Q: 授業中に誰も反応しなかったり、ざわついたりしているときどうしますか？

A: 私は「cold call」をします。私のマイクを私の隣の人や後ろに座っている人にわたすという方法です。重要なポイントは授業中にいつでも Cold Call をする可能性があり、授業に集中していないと答えられない

ことを事前に伝えておくことです。私は学生たちに、名前を呼ばれることを罰としてではなく、単に参加を促す方法だと考えてもらいたいです。また場合によっては質問の言い方を変えたり、ヒントを与えたりもします（答えの 20% を教えるなど）。

Q: 教えている科目の中で、最も準備に時間のかかる科目はどれですか？

A: ほとんどの時間を E-commerce の準備に費やしています。準備に時間をかけている理由は、学生たちが学んでいることが関連



性があり最新のものにするために、毎セメ  
スターごとに内容を更新しているからで  
す。先ほども話したとおり私は授業ごとに  
Active Learning Activity を準備しています。  
特にパンデミックの間、E-commerce をは  
じめ市場の動向は進化し続けています。例  
えば、春セメスターのE コマースの授業で  
は、Airbnb やシェアリングエコノミー、パ  
ンデミックの克服と課題の先にあるもの  
についてのケーススタディを盛り込みまし  
た。

Q: 授業内容を改善する際、どの

ようなステップがありますか？

私は「振り返り」、「学生からのフィード  
バック」、「日本語で同じ科目を教えてい  
る教授との意見交換」、「現在の市場観察」  
という 4 つの観点から授業を改善してい  
ます。

振り返り

キャンパスターミナルでシラバスを更新  
するときは毎回授業後に簡単な振り返り  
を行い、各セメスターにまた別の振り返  
りを行います。

学生からのフィードバック

対面授業やオンライン授業では出席票の

のコメントで学生のフィードバックをもら  
い、セメスター終了後もフィードバックを  
受け取ります。授業評価アンケートでは学  
生たちが私の授業を満足しているか否かを  
知るために詳細なフィードバックに注意を  
払って目を通すようにしています。大学で  
は学生がターゲットなので学生の声に耳を  
傾けることが大事だと思っています。

同僚の教授と意見交換

私は他の教授との時間を大切にしてい  
て、他の教授の教え方について意見や提案を共  
有しています。このアイデアの交換を通じ  
て授業で実装する新しいアイデアだけでな

く、うまくいくものとそうでないものを把  
握することができます。

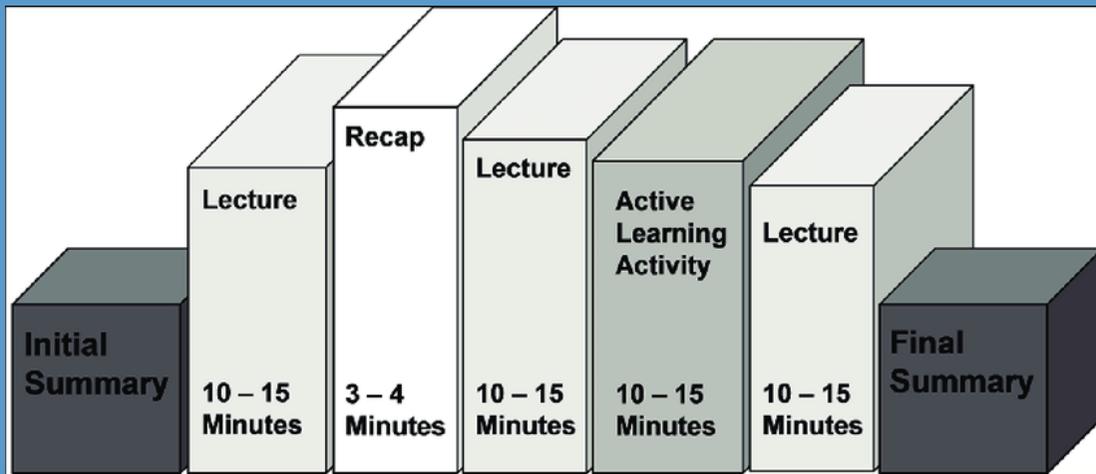
現在の市場観察

クラスの内容を準備するときは、常に現在  
の市場を観察して学生が学んでいることが  
古い情報になっていないことを確認しま  
す。

大学では学生が  
ターゲットなので  
学生の声に耳を  
傾けることが大事  
だと思っています。



(マシュマロチャレンジ)



Class Schedule

# インタビューの感想

私は Pajaree 先生の授業をいくつか受講しましたが、Pajaree 先生の授業はいつも活気に満ちていました。授業では常に授業中の活動があり、授業中に学生と先生の間でインタラクティブなコミュニケーションが十分に取れていました。Pajaree 先生が学習の質を向上させるために「Active Learning」と「Active Learning」に長い時間と労力を費やしていることは知りませんでした。マシュマロチャレンジなどの Active Learning Activity を経験することで、重要な概念をしっかりと定着させることができました。

## 「Q」とは

APU で素晴らしい授業を行っている先生方はたくさんいらっしゃいますが、先生方が授業中にどのような工夫をしているのか知ることが出来れば、他の先生の授業改善にも役立つ。そのために、インタビューをして授業の工夫を教えてもらいたい、ということで始めた取り組みです。この記事は、授業の「Quality=質」を高める、質を高めるための「Question=問」に答える、授業改善の「Queue=列」をなす、など、色々な意味を込めて「Q」と名付けました。先生方の授業の質向上の「Quest」に役立てられると幸いです。

